

帝 塚 山 大 学

日本史・世界史・数学・理科 試験問題

試験時間 60分

1. 試験開始の指示があるまで問題冊子を開いてはいけません。試験開始とともにまずページ数を確認してください。

「日本史」「世界史」「数学ア」「数学イ」「生物基礎・化学基礎」「生物基礎・生物」の中から1科目を選択して解答してください。

「日本史」…………… 1～12ページ

「世界史」…………… 14～25ページ

「数 学」

「数学ア」※数学Ⅰ・数学A（図形の性質）…………… 26～31ページ

「数学イ」※数学Ⅰ・数学A（場合の数と確率）…………… 32～37ページ

「理 科」

理科①「生物基礎・化学基礎」…………… 38～47ページ

理科②「生物基礎・生物」…………… 48～55ページ

2. 解答は、HBの黒鉛筆またはシャープペンシルで正しくマークしてください。
3. 解答は、解答用紙の対応する解答番号欄にマークしてください。
4. 受験番号は受験番号欄に記入し、受験番号欄の下欄にマークしてください。
5. 解答用紙の科目名記入欄には選択する科目名を記入し、さらに該当科目の欄にマークしてください。（裏表紙にマーク解答用紙記入例を掲載していますので、問題冊子を裏返して必ず参照してください。）
6. 解答を訂正する場合には、消しゴムで完全に消し、消しくずが残らないようにしてください。
7. 解答用紙は汚したり、折り曲げたりしないでください。
8. 終了後退出するとき、問題冊子は持ち帰ってください。

裏表紙に続く。

マーク解答用紙記入例

◇受験番号記入例

〔受験番号 10001B の場合〕

受 験 番 号 欄					
万位	千位	百位	十位	一位	英字
1	0	0	0	1	B

受験番号 (マーク)	万位	●	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(0)			
	千位	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	●			
	百位	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	●			
	十位	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	●			
	一位	●	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(0)			
	英字	(A)	●	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	(J)	(K)	(L)	(M)
		(N)	(O)	(P)	(Q)	(R)	(S)	(T)	(U)	(V)	(W)	(X)	(Y)	(Z)

◇科目名記入例

〔理科②を選択した場合〕

科目名記入欄	国語	英語	日本史	世界史	数学 ア	数学 イ
理科②	○	○	○	○	○	○
					理科①	理科②
					○	●

◇解答記入例

〔解答が③の場合〕

良い例

解 答 番 号	解 答 欄
1	① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

記入枠のマーク内を塗りつぶす

悪い例

解 答 番 号	解 答 欄
1	① ② ③ ④
2	① ② ③ ④
3	● ② ③ ④

●左のようなマークが不完全なもの

●塗りつぶしが見えている

●×印をつけても消したことになります

このような記入をしてはいけません。

日本史

Ⅰ 次の文章〔A〕～〔D〕を読んで、後の問いに答えよ。

解答番号 1 ～ 8

〔A〕 縄文人はあらゆる自然現象や自然物に靈魂がやどると信じていたと考えられている。
これをアニミズムというが、女性をかたどった ア はそうした呪術と儀礼の発
達を物語る。

<設問>

問 1 空欄 ア にあてはまるものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

1

- ① 土錘 ② 石鏃 ③ 土偶 ④ 石棒

問 2 縄文時代の生活について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ
選べ。

2

- ① 集落には静岡県三内丸山遺跡のように、大型の竪穴建物をともなう場合もあった。
② 黒曜石などの石器の原材料の分布状況から、かなり遠方の集団との交易も行われたこ
とがわかる。
③ 縄文時代は縄文土器の変化によって前期・中期・後期の3期に区分される。
④ 九州北部で米づくりが開始され、北海道と南西諸島を除く地域で、水稻耕作を基礎と
する農耕文化が形成された。

〔B〕 天武天皇のあとを継いだ皇后の持統天皇は689年に、ア を施行した。これに
もとづいて翌年、庚寅年籍がつくれ、以後、6年ごとに戸籍をつくる制度が確立した。
また、694年に中国の都城を模した イ に遷都した。

<設問>

問 1 空欄 ア ・ イ にあてはまるものの組合せとして最も適当なものを、次
の①～④のうちから一つ選べ。

3

- ① ア = 大宝律令 イ = 平城京 ② ア = 大宝律令 イ = 藤原京
③ ア = 飛鳥浄御原令 イ = 平城京 ④ ア = 飛鳥浄御原令 イ = 藤原京

問2 7世紀後半の社会や文化について述べた文として不適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

4

- ① 仏教興隆は国家的に推進され、地方豪族も競って寺院を建立したので、仏教文化は急速に発展した。
- ② 法隆寺金堂壁画はインドや西域の影響が認められる優品であったが、1949年に焼損した。
- ③ 白村江の戦いでの敗北をうけて、対馬・壱岐・筑紫に防人をおくなど、防衛政策が進められた。
- ④ 大学での学問も重んじられ、有力貴族は子弟の教育のために寄宿舎である大学別曹を設けた。

〔C〕 桓武天皇は平城京から長岡京へ遷都した。しかし、長岡京造営を主導していた藤原種継が暗殺され、首謀者とされた皇太子の ア が地位を追われた。794年には平安京へ再度都が遷された。平安京の造営や蝦夷との戦いは国家財政や民衆の大きな負担となった。桓武天皇は、^(a) 徳政相論と呼ばれる議論を行わせた。

<設問>

問1 空欄 ア にあてはまるものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

5

- ① 長屋王 ② 早良親王 ③ 宗尊親王 ④ 大友皇子

問2 下線部(a)に関わる次の資料を読み、その内容として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

6

資料

勅ありて、参議右衛士督從四位下藤原朝臣緒嗣^{おつぐ}と参議左大弁正四位下菅野朝臣真道^{まみち}をして天下の徳政を相論せしむ。時に、緒嗣議して云わく、方今、天下の苦しむところは軍事と造作^(注1)なり。この両事を^{とど}停むれば百姓^{やす}安んぜん。真道、異議を確執^(注2)してあえてゆるさず。帝^(注3)緒嗣の議を善とし、すなわち停廢に従う。有識聞きて感歎せざるはなし。

(『日本後紀』 原漢文)

(注1) 軍事は蝦夷との戦い、造作は平安京の造営のこと。

(注2) 強くこだわる。

(注3) 桓武天皇。

- ① 藤原緒嗣は軍事と造作を停止することが徳政であると考えた。
- ② 菅野真道は最初、藤原緒嗣の意見に異議を唱えたが、後にその意見に同意した。

- ③ 桓武天皇は2人が同じ意見であることを知り、2つの事業を停廃することを受け入れた。
- ④ 有識（見識のある者）のなかには桓武天皇の決定に反対意見を持つ者も少なくなかった。

〔D〕安和の変の後、摂政・関白がおかれるのが慣例となり、摂関政治が確立した。摂関家の内部では摂政・関白の地位をめぐる争いが続いたが、ア のときにおさまった。その日記『御堂関白記』は当時の貴族たちの日記の代表例である。

<設問>

問1 空欄 ア にあてはまるものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

7

- ① 藤原頼通 ② 藤原純友 ③ 藤原道長 ④ 藤原実資

問2 平安時代中期頃の東アジアについて述べた文として不適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

8

- ① 中国では唐が滅亡すると、五代十国の諸王朝が興亡し、宋（北宋）によって再統一された。
- ② 商人の船を利用して大陸にわたり、文物を日本にもたらした僧もいた。
- ③ 朝鮮半島では高麗がおこり、やがて百済を滅ぼして朝鮮半島を統一した。
- ④ 遣唐大使に任じられた菅原道真は派遣の中止を提案し、遣唐使は派遣されないままとなった。

Ⅱ 次の文章〔A〕・〔B〕を読んで、後の問いに答えよ。

解答番号 9 ～ 16

〔A〕11世紀の半ば、陸奥北部で勢力を誇っていた豪族安倍氏が国司と争うと、源頼義は子の ア とともに東国の武士を率い、出羽の豪族清原氏の援助を得て ^(a) 安倍氏を滅ぼした。 この後、陸奥・出羽両国では清原氏の勢力が強まったが、清原氏一族の内紛が起こると、当時陸奥守であった ア はこれに介入し、藤原（清原）清衡を支援して内紛を鎮圧した。清衡は陸奥の イ を根拠地として奥羽地方に支配を広げ、^(b) 奥州藤原氏は清衡の子の藤原基衡、孫の藤原秀衡と3代100年にわたって繁栄した。

<設問>

問 1 空欄 ア にあてはまるものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

9

- ① 源 経基 ② 源 満仲 ③ 源 義家 ④ 源 頼政

問 2 下線部(a)の戦いを描いた作品として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

10

- ① 陸奥話記 ② 吾妻鏡 ③ 塵芥集 ④ 後三年合戦絵巻

問 3 空欄 イ にあてはまるものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

11

- ① 多賀城 ② 平泉 ③ 十三湊 ④ 米沢

問 4 下線部(b)について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

12

- ① 蝦夷ヶ島（北海道）へ進出するため、道南十二館と呼ばれる拠点を築いた。
② 藤原基衡は、後白河法皇のために蓮華王院を造営し、その功績によって鎮守府将軍に任命された。
③ 藤原秀衡は、源頼朝と対立して逃亡していた源義仲をかくまった。
④ 金や馬などの産物の富を背景に、中尊寺や毛越寺などの豪華な寺院を建立した。

〔B〕 ^(a)1333年に鎌倉幕府が滅亡すると、後醍醐天皇は ア の新政と呼ばれる新しい政治をおこなった。しかし、天皇中心の新政策は、武士社会の慣習を無視するものもあったため、多くの武士の不満と抵抗を引き起こした。また、^(b)にわかづくりの政治機構と内部の複雑な人間的対立は、政務の停滞や社会の混乱を招き、人々の信頼を急速に失っていった。

<設問>

問 1 下線部(a)について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

13

- ① 後醍醐天皇の皇子懐良親王や新田義貞は、悪党などの反幕府勢力を結集して大和・河内などで幕府軍と粘り強く戦った。
② 幕府軍の指揮官として畿内に派遣された有力御家人の足利高氏（尊氏）は、幕府に背いて六波羅探題を攻め落とした。
③ 関東で挙兵した楠木正成は、鎌倉を攻めて得宗の北条高時以下の北条氏一門を滅ぼした。

④ 北条高時の子の北条時行は、後醍醐天皇から許されて新政権で重用された。

問2 空欄 **ア** にあてはまるものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

14

- ① 延喜 ② 元弘 ③ 建武 ④ 延久

問3 下線部(b)について、後醍醐天皇のもとで新たに設置された機関として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

15

- ① 御料所 ② 雑訴決断所 ③ 侍所 ④ 藏人所

問4 日本史探究の授業をきっかけに後醍醐天皇の政策に興味をもった高校生のシュンスケさんは、後醍醐天皇が後世の人びとにどう評価されたか調べたいと思い、先生に相談したところ、次の資料を紹介してもらった。資料に関して述べた後の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

16

資料

経顕卿^{つねあききょう} (注1) 任大臣^{ひごら}の事、日來風聞するところなり。主上の御乳父^{めのと} (注2) の儀たり。彼の労^い (注3) か。募るところなきによる如何。頗る驚耳たる事か。向後、勸修寺一家、丞相^{きやうしやう} (注4) の望みをなすべきか。名家^{なめい} (注5) の輩^{ともがら} 丞相過分の至りなり。後醍醐院天下一統の時、故吉田内府〈定房〉^{おわ} (注6)、彼の院〈時に御在位〉の乳父の労として任ぜられ了んぬ。今度又彼の例を追わるるか。但し後醍醐院の御行い事、この一事を限らず、每事物狂いの沙汰等なり。後代^あ 豈に因准^{いんじゆん} (注7) すべけんや。

(『後愚昧記』，原漢文，〈 〉内は原文での割書きを示す。)

(注1) 経顕卿：勸修寺経顕（1298年～1373年）のこと。

(注2) 乳父：この場合は乳母の夫。

(注3) 労：その職をつとめ上げて、功勞のあること。功績。

(注4) 丞相：大臣のこと。

(注5) 名家：公家の家格の1つで、通常は大臣には昇進できない。

(注6) 故吉田内府〈定房〉：内大臣吉田定房^{よしだ きたふさ}（1274年～1338年）。名家の出身。

(注7) 因准：先例などに拠りしたがうこと。

X 後醍醐天皇は公家社会の家格秩序にとらわれず、破格の拔擢人事をおこなった。

Y この資料を書いた人物は、後醍醐天皇の政策は一部に問題もあったが、後世の人びとが模範とすべき良い政治であったと評価している。

① X = 正 Y = 正

② X = 正 Y = 誤

③ X = 誤 Y = 正

④ X = 誤 Y = 誤

Ⅲ 次の文章〔A〕・〔B〕を読んで、後の問いに答えよ。

解答番号 17 ~ 28

〔A〕 Aさん：こないだ道頓堀に行ってきたよ。大阪はまさしく「水の都」だと思って。

江戸時代の大坂は ア 酒田を起点とした「西廻り海運」のターミナルだったね。そして江戸への輸送も頻繁だった。(a) 大坂～江戸間の南海路を往来した船は何だっけ？

B君：「菱垣廻船」と「樽廻船」だ。これらは定期運航されて、大坂からは木綿・油・酒などの「下り荷」が大量に江戸へ運ばれたよ。江戸の人たちは、上方からもたらされた商品を「下りもの」として大事にした。「くだらない」とは、上方からのものでない、由緒がない、という意味が元なんだ。

Aさん：え、面白い！日本海交通で活躍した廻船は イ だったね。

B君：そう。 イ は下関でぐるっと西に廻って瀬戸内海に入り、大坂に向かった船。だから「西廻り海運」なんだね。下関で思い出したんだけど、長州藩を雄藩にのし上げた、 ウ の エ はすごすぎる。

Aさん：下関に入港する イ などを相手に、本来大坂に運ばれるべき商品を購入して、委託販売することで収益を上げた エ のことでしょ？すごいよね。でも、これは、(b) 幕府が流通を統制できなくなっていったことを示しているね。堂島の米市場が開かれたり、銅座（銅吹所）も置かれたり、幕府にとって大坂は重要地だったのに。

B君：本当に。西廻り海運は年貢米輸送の、そして銅や オ といった長崎貿易の輸出品輸送の大動脈だったんだな。

<設問>

問1 空欄 ア にあてはまるものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

17

① 越後

② 陸奥

③ 出羽

④ 加賀

問2 下線部(a)とその廻船について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

18

- ① 大坂では、問屋仲間の連合組織である十組問屋が結成された。
- ② 江戸では、問屋仲間の連合組織である二十四組問屋が結成された。
- ③ 菱垣廻船は17世紀前半、酒荷専用として運航が始まった。
- ④ 樽廻船は荷積み期間が短く、酒以外の商品も上積み荷物として安価で運送した。

問3 空欄 にあてはまるものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

19

- ① 奉書船 ② 朱印船 ③ 北前船 ④ 建長寺船

問4 空欄 ・ にあてはまるものの組合せとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

20

- ① ウ = 鍋島直正 エ = 均田制の実施
- ② ウ = 調所広郷 エ = 反射炉の築造
- ③ ウ = 江川太郎左衛門 エ = 専売制の強化
- ④ ウ = 村田清風 エ = 越荷方の設置

問5 下線部(b)について幕府の流通統制策として不適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

21

- ① 海舶互市新例（長崎新令・正徳新令）の発布
- ② 万延の貨幣改鋳
- ③ 五品江戸廻送令の発布
- ④ 江戸地廻りの商人仲間の解散命令

問6 空欄 にあてはまるものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

22

- ① 綿織物 ② 毛織物 ③ 砂糖 ④ 俵物

〔B〕一、…当時国々米穀の貯乏^{たくわえ}く候故、^(a)去^{さる}る申年の凶作にも罪なき者食に飢候て死候もの幾千万に可有御座哉、 羽州辺土の儀は勿論、恐多くも 上の御膝元と唱へ候御府内にてさへ、去年の春まではここかしこに倒れ死人夥^{おびただ}しく、（中略）誠に目もあてられ不^{もうさず}申候、（中略）諸大名初め無益の奢り甚しく候故、今日のくらし方にさし支^{つかえ}、富民へは用金を申付、貧民とも年貢延引いたし候へはきびしく催促いたし候のみにて、仁恵を施し不申候故、下々にては領主地頭無理なるものと相心得申候、（中略）^(b)凶年にて百姓の飢死候をも見殺しにいたし、武備は手薄く候て、士風情弱に相成居候

故、近年、^(c)参州、甲州の百姓一揆徒党を結び、又は、^(d)大坂の奸賊容易ならざる企仕、
^{なお}猶当年も佐渡の一揆御座候は畢竟下々にて ^{ひっきょう}上を怨み候と上を恐れざるより起り申候
… (「戊戌封事」)

<設問>

問1 [B] は、水戸藩主徳川齊昭が、この時代の危機的状況を内憂と外患に大別し、将軍に提出した幕政改革の意見書の一部である。下線部(a)が示す飢饉の名称として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

23

- ① 寛永の飢饉 ② 享保の飢饉 ③ 天保の飢饉 ④ 天明の飢饉

問2 空欄 ア にあてはまるものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

24

- ① 泉州 ② 関八州 ③ 摂州 ④ 奥州

問3 下線部(b)のような武士のあり方が内憂（国内問題）を悪化させていると考えた徳川齊昭は教育を重視し、水戸学を発達させた。水戸学の学者として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

25

- ① 藤田東湖 ② 荻生徂徠 ③ 平田篤胤 ④ 海保青陵

問4 下線部(c)は三河国および甲斐国でおこった百姓一揆を表している。このうち、甲斐国における百姓一揆を、次の①～④のうちから一つ選べ。

26

- ① 嘉助騒動 ② 郡内騒動 ③ 加茂一揆 ④ 生田万の乱

問5 下線部(c)、(d)について述べた文として不適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

27

- ① いずれも幕府直轄領・旗本領においておこった騒動であった。
② いずれも幕府や藩によって鎮圧された騒動であった。
③ いずれも代表越訴型の騒動であった。
④ いずれも米不足をきっかけにおこった騒動であった。

問6 下線部(d)の主導者である大塩平八郎について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

28

- ① 江戸町奉行の元与力であった。
② 「知行合一」を唱える蘭学者であった。
③ 懷徳堂を開いた古学者であった。
④ 洗心洞を開いた陽明学者であった。

Ⅳ 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

解答番号 **29** ～ **34**

第二次長州征討に出陣していた **ア** の急死により、第15代将軍となった徳川慶喜は幕政の立て直しを図った。一方、同盟を結んだ薩摩・長州の両藩は武力倒幕を決意した。公武合体の立場をとる **イ** 藩は1867（慶応3）年に前藩主の山内豊信が、慶喜に政権を朝廷に返還することを勧めた。これを受けて慶喜は同年10月14日に大政奉還の上表を朝廷に提出した。倒幕派は朝廷内の **ウ** と結び、12月9日朝廷内でクーデタを執行し、^(a)王政復古の大号令を発して新政府を樹立した。また、同日の夜に行われた小御所会議では、慶喜に内大臣の辞退と朝廷への領地の一部返上を命じる処分が決定された。これに慶喜は反発し、^(b)新政府と軍事的に対立することになった。

<設問>

問1 空欄 **ア** にあてはまるものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **29**

- ① 徳川家定 ② 徳川家茂 ③ 徳川家斉 ④ 徳川家慶

問2 空欄 **イ** にあてはまるものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **30**

- ① 会津 ② 水戸 ③ 土佐 ④ 肥後

問3 空欄 **ウ** にあてはまるものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **31**

- ① 松平容保 ② 岩倉具視 ③ 二条斉之 ④ 近衛忠熙

問4 下線部(a)について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **32**

- ① 幕府は廃絶したが、将軍職は形式上残された。
 ② 朝廷の摂政・関白や太政官が廃止された。
 ③ 天皇のもとに新たに総裁・議定・参与の三職が置かれた。
 ④ 年号を明治と改元して一世一元の制を採用した。

問 5 下線部(b)について述べた文として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

33

- ① 慶喜を擁する旧幕府軍は江戸から京都まで進撃したが，鳥羽・伏見の戦いにて新政府軍に敗れた。
- ② 新政府軍は江戸に逃れた慶喜を朝敵として東征軍を発したが，慶喜と西郷隆盛の直接会見によって江戸城は無血開城された。
- ③ 東征軍は奥羽越列藩同盟を結成した東北諸藩の抵抗にあった。なかでも会津の若松城では赤報隊との激しい戦闘が起こった。
- ④ 旧幕府軍の榎本武揚らは箱館の五稜郭に立てこもったが，1869年に陥落し，国内は新政府軍にほぼ統一され，戊辰戦争が終結した。

問 6 幕末期の社会について述べた文として不適當なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

34

- ① 開国による物価上昇や，政局による抗争は社会不安を増大させ，困窮した農民たちは世直しを叫んで一揆をおこした。
- ② 東海・畿内の一部民衆の間で「ええじゃないか」の集団乱舞が発生し，幕府の支配秩序を一時混乱におとしいれた。
- ③ 時代の転換を祝福する世相から，民衆の間で出雲大社への御蔭参りが流行した。
- ④ 対外的な危機から実学志向が強まったことで，欧米諸国の技術や学問への関心が高まり，幕府や諸藩は海外に留学生を派遣した。

V 次の文章〔A〕・〔B〕を読んで、後の問いに答えよ。

解答番号 35 ~ 40

〔A〕朝鮮戦争が始まると、アメリカは日本の占領を終わらせて日本を西側陣営に編入しようとする動きをみせた。アは講和後もアメリカ軍の駐留を認めることで、再軍備の負担を避けて経済復興に全力を注ぐことを考え、基地提供の見返りにアメリカに安全保障を依存する道を選択し、48か国との間で^(a)サンフランシスコ平和条約を調印した。

資料

第三条 日本国は、北緯二十九度以南の南西諸島（イ及び大東諸島を含む。）、
そうふ 孺婦岩の南の南方諸島（ウ、西之島及び火山列島を含む。）並びに沖の鳥島及び
 南鳥島を合衆国を唯一の施政権者とする信託統治制度の下におくこととする国際連合に対
 する合衆国のいかなる提案にも同意する。（『日本外交文書』）

<設問>

問1 空欄アにあてはまるものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 35

- ① 吉田 茂 ② 芦田 均 ③ 鳩山一郎 ④ 片山 哲

問2 空欄イ・ウにあてはまるものの組合せとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 36

- ① イ＝奄美大島 ウ＝小笠原群島
 ② イ＝奄美大島 ウ＝伊豆諸島
 ③ イ＝琉球諸島 ウ＝伊豆諸島
 ④ イ＝琉球諸島 ウ＝小笠原群島

問3 下線部(a)について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

37

- ① アメリカ側は日本に全交戦国との講和を求めた。
 ② 日本国内では日本社会党や日本共産党などが単独講和の論陣を張った。
 ③ 日本は講和会議と同日に中華民国・中華人民共和国と平和条約を結んだ。
 ④ 日本が交戦国の戦争被害に対しておもに役務の供与により賠償を払う義務を定めた。

〔B〕 ア 内閣による日中国交正常化の実現後，福田赳夫内閣では1978（昭和53）年に イ を締結した。その後，大平正芳内閣，鈴木善幸内閣と続き，1982（昭和57）年に発足した ^(a) 中曽根康弘内閣 では行政・財政改革を推進した。

<設問>

問 1 空欄 ア にあてはまるものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

38

- ① 佐藤栄作 ② 三木武夫 ③ 田中角栄 ④ 池田勇人

問 2 空欄 イ にあてはまるものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

39

- ① 日華平和条約 ② 日中共同声明
③ 日中平和友好条約 ④ MSA協定

問 3 下線部(a)での出来事として不適當なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

40

- ① 消費税の導入
② プラザ合意
③ 電電公社・専売公社・国鉄の民営化
④ 男女雇用機会均等法の公布